

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ルリアン フォレスト		
○保護者評価実施期間	令和8年2月 6日		～ 令和8年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 10日		～ 令和8年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちの対話を主体に置いて、子どもたちのコミュニケーション能力を高めようとしています。	定員10名利用の際は、特性に応じ室内、室外に分かれたり時間さを用いるなど配慮を行っています。	室内、室外と分かれても良いようにスタッフ配置の充実を図ります。
2	チーム全体で活動プログラムを立案しています。	ミーティングを行い、意見を出しながら支援を行っています。	みんなが意見を出し合える空気作りに努めます。
3	親御さんが安心してお子様を通わせられるようなコミュニケーションをとっています。	送迎時、保護者様と今日の様子をお話して意見を交換しています。	短時間でお話して安心してもらえるようなトーク力を身につけていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母会の活動支援や保護者会の開催などができなかったです。	以前は実施していたのですが、インフルエンザ感染症の流行やスタッフの配置の不十分さに伴い実施を見送る状況が続いています。	感染症が落ち着いて、すたっぶが充実すれば開催したいと思います。
2	保護者からの子育ての悩みなどの相談による適切な対応と助言の実施が弱みかと思われます。	ご相談いただいてことに対して事業所での協議や相談支援専門員のかたとの話し合いなど、ケースにより様々な方法でお力になれるよう努めています。	お子さまについての情報交換、情報共有をして保護者様に安心と信頼を持っていただけるよう努めます。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ルリアンフォレスト

公表日 令和8年2月23日

利用児童数

34

回収数 18

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	72%	22.20%		5%		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	55.50%	5%	11.10%	27.70%	もう少し人数が多い方が一人ひとりをじっくり見てもらえるのかなと思いました。	スタッフ募集をしていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	66.60%	11.10%		22.20%		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	94.40%	5.50%				
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	73%	22.20%		5%		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	83.30%			16.60%		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	77.70%	11.10%		11.10%		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	66.60%	11.10%		22.20%		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	83.30%			16.60%		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	94.40%		5.50%		プログラム全般を通してスタッフのセンスが伝わってきます	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	44.40%	16.60%	11.10%	27.70%		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	77.70%	11.10%	5.50%	5.50%		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16.60%	16.60%	27.70%	38.80%		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	72.20%	16.60%		11.10%	送迎の際、その日の様子を丁寧に教えてくれる	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	44.40%	16.6	27.70%	11.10%		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	94.40%			5.50%	子どもの特性を踏まえた安心感のある支援がなされている。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	11.10%	27.70%	33.30%	27.70%		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	66.60%	16.60%		16.60%		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	88.80%	11.10%					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	94.40%			5.50%	HUGアプリやインスタを通して情報が迅速に提供されている。		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%						
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	50%	11.10%	11.10%	27.70%			
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	38.80%	11.10%	11.10%	38.80%			
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	61.10%	11.10%	5.50%	22.20%			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	72.20%	5.50%	5.50%	16.60%			
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	94.40%	5.50%					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	94.40%	5.50%					
	29	事業所の支援に満足していますか。	94.40%	5.50%			スタッフの専門性やスキルも高く、温かく支援をさせていただき感謝しています。		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ルリアン フォレスト		公表日 R8 年 2 月 20 日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	80%	20%	広々と使えるようにものを精査しています。	活動内容に合わせて、工夫していきます
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	80%	20%	個別対応が十分できる職員配置に努めています。	スタッフ募集のお知らせをSNSなどを使って行っています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。	95%	5%	当日の活動や担当はホワイトボードに書いて分かりやすくしています。	視覚支援など個々にあった支援を実施しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	90%	10%	換気、加湿などを定期的に行ってます。	毎朝の清掃で清潔を保っています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	90%	10%	落ち着いて過ごせるような場所、部屋を確保してクールダウン出来たら参加できるようにしています。	落ち着ける空間でスノックという場所があります。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%		毎日のミーティング、振り返りを大切にしています。	年2回、行っています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	80%	20%	毎回の送迎で、子どもたちの事に関して一言添えてお送りしています。	気付きや疑問点を共有しています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		意見を言い合える関係性を構築しています。	毎日の朝礼で共有して行っています
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			第三者をお願いする団体を探しておきます。	第3者の外部評価を参考に業務を行っています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		外部の先生を招いて研修しています。	月1回の研修を行っています。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		定期的に公表されています。	定期的に公表しています
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		モニタリングを実施して最適な支援方法を検討し、支援計画を立てています。	保護者様との連携をとり情報を共有しています。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		アンケートを作り何を支援してほしいのか聞いています。	子どもにも困っていることを気安く言える関係性を構築しています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		ミーティングでの情報共有しています。	計画に沿った支援をミーティングでスタッフ同士共有する。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%		自由な遊び時間や集団活動で他者の関わりを行動観察して、本人の意欲や環境への適応実態を把握する	学校での様子、家での様子を共有して全体像を見えやすくする。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	80%	20%	自立支援、日常生活の充実、多様な体験を視野にいれて本人の強みを生かせる具体的な活動計画を個別支援計画に明記しています。	発達支援にお狙いに直結した質の高いサービスを提供できるようにする。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		ミーティングを行い意見を出し合っています	他事業所のいい案を参考にしていくことも話し合っています
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		ミーティングを行い意見を出しながら工夫しています	他事業所のいい案を参考にしていくことも話し合っています

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別対応と集団活動をバランスよく組み合わせた計画を作成しています。	1人1人ペースに合わせて構やかな支援をしていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		ミーティングで決まったことをラインで共有します。	ミーティングで決まったことをラインで共有します。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		業務終了後、振り返りを行い情報共有し、スタッフ間で共有します。	業務終了後、振り返りを行い情報共有し、スタッフ間で共有します。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		雑談のなかに支援のことも共有することで、スタッフ間お互いの見直しもできるようにする	雑談のなかに支援のことも共有することで、スタッフ間お互いの見直しもできるようにする
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		6ヶ月に1回のモニタリング、個別支援計画の見直しを行っている	時間が取れない保護者様の都合に極力合わせていくようにします。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	80%	20%	色々な組み合わせで様々な活動を取り入れて支援につなげていきます。	地域交流会に積極的に参加していこうと思います。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%		視覚支援を用いて遊びの種類や活動の順番を本人が選べるようにしています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	80%	20%	管理者、自発管が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%		外部講師から研修を受けさせてもらってます。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	90%	10%	ホームページを確認したり、保護者様から教えていただいています。	月初めにホームページで確認し、印刷して共有します。不意の変更時に対応できるようにします。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%		担当者会議で共有します。	担当者会議での内容をスタッフ間で共有します。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	80%	20%	相談猪さんと連携を取り助言をいただいています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	80%	20%	近くの公園での他のお子さまたちと一緒に遊びをする機会をつくってます。	今後、地域活動にも積極的に参加して用います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。			参加できてません。	今後、参加していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		送迎時、お子様の状態や発言を保護者様と共有して、都度スタッフにも周知しています。	極力分かりやすい言葉で明確にお伝えします。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	90%	10%	相談員さんと連携を取って支援を実施している。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		契約時に丁寧に説明してます。	来所時の様子など、送迎時に報告していく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		半年に1度のモニタリングの時に確認します。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	90%	10%	支援計画案をお渡しし、説明しながら確認をしています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		送迎時、保護者様とコミュニケーションを取りやすい環境を作ってます。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	50%	50%	感染症などで行っていない。	感染症などで開催できていなかったため、落ち着いてくれば、夏祭りやドライブなどのイベントの中で組み込んでいきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		迅速に対応して誠意をもって対応します。	迅速に対応してスタッフ間でも周知して、誠意ある対応をしています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		月1回行事予定表を配布し、情報伝達しています。	毎日、活動内容をハグにてお送りしています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		充分気を付けていきます。	SNSに顔出ししてほしい方、してほしくない方を周知して、個人情報が出ないよう気を付けてます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		トークブックを活用するなど配慮しています。	意思疎通を大事に支援していきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	20%	80%		今後、地域活動にも積極的に参加していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		感染症及び災害発生時の対応マニュアルを作り、スタッフ間で共有して定期的に訓練、シミュレーションをします。	防災に関わる勉強会を活動に取り入れて、子ども達と一緒に学べる機会をつくります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		年3回避難訓練、うち2回火災訓練など定期的に実施して災害に備えた取り組みをします。	年3回避難訓練、うち2回火災訓練など定期的に実施して災害に備えた取り組みをします。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%		契約時に確認し、スタッフ間で共有しています。	発作など起きた場合の対応を、スタッフ間で共有、周知しています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%		契約時に確認し、スタッフ間で共有しています。	何がアレルギーかをスタッフ間で共有、周知しています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	90%	10%	年度ごとに安定した安全計画に基づいて安全管理を徹底して利用者の安全を優先します。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%		緊急時の対応や日頃の安全対策について共通認識をもって支援を行える体制を整えます。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		スタッフ間で周知して改善策を考えて再発防止に取り組みます。	スタッフ間で周知して改善策を考えて再発防止に取り組みます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		虐待防止委員会、アンケート、研修を随時実施しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%		契約時にしっかり説明を行い同意の上書面、捺印いただいています。	契約時にしっかり説明を行い同意の上書面、捺印いただいています。	